

第 71 回 品質保証分科会 議事録 (案)

1. 日 時 2026 年 6 月 19 日 (金) 10 時 00 分～12 時 00 分

2. 場 所 タイムリッチ銀座 10F 会議室 B (Web 併用会議)

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員: 山田分科会長(慶応義塾大学), 須田副分科会長(テクノファ), 河本幹事(北海道電力), 徳久(三菱重工業), 佐藤^智(日立 GE ベルパ[®]), 工藤(東芝), 杉谷(三菱電機), 鈴木(富士電機), 友田(IHI), 細谷(日本原子力発電), 鈴木(中部電力), 平田(中国電力), 岡本(九州電力), 田中(関西電力), 小野瀬(東北電力), 豊田(四国電力), 佐藤^修(鹿島建設), 本島(大成建設), 齋藤(三菱原燃), 蓮池(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジパ[®]ン), 藤谷(日本原燃), 川上(日本製鋼所), 佐藤^吉(元東京海洋大学), 中條(中央大学), 中西(慶応義塾大学), 橋本(発電設備技術検査協会), 菅谷(日本エヌ・ユー・エス)

(計 27 名)

代理委員: 山崎(電源開発, 小松委員代理), 道下(北陸電力, 正木委員代理), 森(清水建設, 光井委員代理), 高橋(日本原子力研究開発機構, 福田委員代理)

(計 4 名)

欠席委員: 小松(電源開発), 正木(北陸電力), 仲村(東京電力 HD), 光井(清水建設), 中江(原子燃料工業), 景井(ビューロベリタスジパ[®]ン), 福田(日本原子力研究開発機構), 吉田(熊本大学名誉教授)

(計 8 名)

(委員 計 31 名)

常時参加者: 高田(原子力規制庁), 瀧田(原子力規制庁)

(計 2 名)

説明者: 品質保証検討会 竹田主査(関西電力), 小林 普及促進チームリーダー(電源開発), 鈴木(元中部電力)

(計 3 名)

オブザーバ: なし

(計 0 名)

事務局: 浅見, 上野(日本電気協会)

(計 2 名)

(合計 31 名)

4. 配付資料: 別紙参照。

5. 議 事

事務局より, 本分科会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないこと及び Web 会議での注意事項を確認の後, 山田分科会長の開催挨拶があり, その後議事が進められた。

(1) 代理出席者，常時参加者，説明者，オブザーバの承認，定足数確認，配付資料の確認，分科会委員の再任等 他

事務局より，資料 No.71(1)1 に基づき，新委員 3 名の紹介があった。

第 98 回原子力規格委員会（2026.6.23）承認予定委員候補 3 名(前任委員の代理扱い)

山崎(電源開発)，森(清水建設)，高橋(日本原子力研究開発機構)

本日の代理出席者 4 名の紹介があり，分科会規約第 7 条（委員の代理者）に基づき，分科会長の承認を得た。確認時点の出席者は代理出席者も含めて 31 名であり，分科会規約第 10 条（会議）第 1 項に基づき，委員総数の 3 分の 2 以上の定足数（24 名以上）を満たしていることが事務局より報告され確認された。

常時参加者の異動は無いことが報告された。

次に，事務局より，説明者 3 名の紹介の後，配付資料については，事前送付されているので問題ないことを確認した。その後新委員による挨拶があった。

(2) 分科会タスク・検討会委員の変更（審議）

事務局より，資料 No.71(2)シリーズに基づき，分科会タスク・検討会委員の変更について紹介があった。下記に示す品質保証検討会新委員候補については，分科会規約第 13 条(検討会)第 4 項に基づき，品質保証検討会委員として承認するかについて，分科会規約第 13 条(検討会)第 15 項に基づき，Web の挙手機能により決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

【品質保証検討会】

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ・ 退任予定 佐藤 委員（東北電力） | ・ 新委員候補 鈴木 徳弘氏（同左） |
| ・ 退任予定 高橋 委員（日本原子力研究開発機構） | ・ 新委員候補 安宗 貴志 氏（同左） |

【ワークショップ検討タスク】

- ・ 委員の品質検討会主査 竹田主査に交代（西田主査交代のため）

【JEAC4111 適用課題検討タスク】

- ・ 委員の品質検討会主査 竹田主査に交代（西田主査交代のため）

【JEAC4111 改定基本方針検討タスク】

- ・ タスクメンバー（案）を提示

(3) 前回分科会議事録の承認（審議）

事務局より，事前に確認を受けた資料 No.71(3)1 の前回議事録（案）の紹介があり，正式議事録とすることについて，分科会規約規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき，Web の挙手機能により決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(4) 前回分科会以降の状況報告（報告）

事務局より、資料 No.71(4)シリーズに基づき、前回分科会以降の状況について報告があった。

- ・ 書面投票 70-1 を（3 月 6 日～4 月 4 日）で実施。
- ・ 原子力関連学協会規格類協議会（6 月 9 日）にてステートメント改定が決議、来週の NUSC 報告後に HP 掲載を予定している。
- ・ 品質保証検討会（4 月 14 日）にて主査の選任と副主査の指名が行われた。

主なご意見・コメント

- ・ 特になし

(5) 2026 年度 JEAC4111 実務コース講習会の実施について（審議）

品質保証検討会 普及促進チーム 小林リーダから資料 No.71(5)シリーズに基づき 2026 年度 JEAC4111 実務コース講習会の実施について説明があった。

- ・ オンデマンド配信（9 月 1 日～10 月 31 日）、ライブ配信（10 月 7 日午後予定）
- ・ 昨年からの見直しポイント
 - ① 講習内容の充実：技術資料の重要事項を反映，初学者向けに参照先明示・読み上げ原稿による補足説明を追加
 - ② 受講要件の明確化：「ISO9001 研修機関の講習修了」→「ISO9001 に関する基礎知識を有していることが望ましい」に変更し，現場実務者も対象であることを明確化
 - ③ 受講方法の整理：ライブ配信を「総括講義・質疑ディスカッションの場」と位置付け，事前のオンデマンド視聴完了を必須条件とした。
- ・ 昨年度アンケート結果より，品質保証部門未経験者が前年度より増（30%→43%）となり，初学者への対応強化が課題として確認された。

2026 年度 JEAC4111 実務コース講習会の実施について分科会規約第 12 条(決議)第 4 項に基づき，Web の挙手機能にて決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

主なご意見・コメント

- ・ 技術資料という記載があるが，一般受講者は知らないのでは，補足説明等を付けないと理解できないのではないか。
- 補足説明を追記する。

(6) JEAC4111 改定基本方針検討タスクの検討状況と適用課題検討タスクの解散について（審議）

河本幹事より、タスクメンバーについての調整状況と資料 No.71 (2)4 は案であることが説明された。これを受けた検討の進め方として資料 No. 71 (6)1 により、事務局から説明を行った。

- ・ タスクの構成メンバーは分科会委員が主であり、規格を作成する検討会からの参画を募っているが、難航している。
- ・ 進め方は検討会から意見を収集する体制を考えて、タスク、幹事会（仮称）、作業会（仮称）の3層構造の検討体制が示された。
- ・ 改定仕様書のイメージとして、インプット情報（ISO9001 改定内容、IAEA ガイド改定内容、ステークホルダー要望、規制側要望等）を一件一様のシートで管理し、反映方針を明記する方式が示された。
- ・ JEAC41111 改定基本方針検討タスクが設置されたことで、インプット情報の管理等は行えることから、JEAC4111 適用課題検討タスクについては解散を審議願いたい。

JEAC4111 適用課題検討タスクの解散について分科会規約第 12 条(決議)第 4 項に基づき、Web の挙手機能にて決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

主なご意見・コメント

- ・ タスクと幹事会と作業会と 3 つあるが作業会とは何か。
- 作業会とは検討会で適宜開催している全体サブチーム会合のことである。タスクメンバーに検討会側のメンバーが不参加であるため、作成側への情報提供と意見収集を目的としている。今回、規制側にも参加いただけることから、タスクとその前段に幹事会、その前に検討会側への情報共有を図る作業会という 3 層で検討するプロセスとした。
- ・ タスクをいきなりやるのではなく。事前に幹事会を行うのは分かるが、作業会の位置づけが理解できない。作業会が幹事会になる可能性もあり、実効性に疑問がある。
- 規格を作成する検討会への情報共有と意見収集を先に行うことで、情報の伝達を主に考えてのプロセスの案である。
- タスクを中核において、幹事会・作業会はその下位組織として位置付けたフロー図にするべきである。作業会からプロセスが始まらないようにプロセスを修正した方が良い。
- タスクの組織構造が分かるようなプロセスに修正する。
- ・ 原子力規制庁だが、内容の検討が進めば、規制側も積極的に参加するつもりでいる。
- ・ 検討会委員だが、この案は初めて見るので、ここで決めないでもらいたい。

(7) 書面投票 70-1 の結果とその他意見への回答について（報告）

事務局より、資料 No.71(7)1 に基づき書面投票の結果を報告した。

- ・ 委員総数 35 名中 34 票の投票があり、賛成 34、反対 0 で可決された。
- ・ 賛成票の中に、その他意見として、2 名の委員からご意見を頂いた。
- ・ ご意見への対応について、品質保証検討会 竹田主査より説明を行った。
- ・ 主な修正内容：文体の統一、体裁・規格番号の適正化、リスク情報活用の例として参照先を各章に追記、品管規則追加 21 項目の脱字修正等を行った。
- ・ 「実行性の維持」と「有効性の継続的な改善」の用語の違いについては、次回規格改定時に検討すべき事項とした。また、「改定／改訂」の混在については、すべて規格原文またはタスク名称からの転記であり、修正の必要はない。
- ・ 技術資料の公開にあたり、規格本文をマスキングした形（番号のみ残す）で公開する方向で準備中であることを事務局より報告した。

主なご意見・コメント

- ・ この技術資料の内容について、原子力規制庁はある程度了承しているのか、ただ、聞いただけという状態なのか考え方をお聞かせいただきたい。
- 原子力規制庁だが、技術資料の内容については、関係者に情報共有済みではあるが、規制側として正式に承認するプロセスなどは現時点では考えていない。
- 関係者には情報共有されていること、目立ったコメントも無いことと理解した。

(8) 品質保証検討会からの報告（報告）

第 75 回品質保証検討会で主査に選任された竹田主査から就任の挨拶と副主査に東京電力 HD 小園委員が指名されたとの報告があった。

主なご意見・コメント

特になし

(9) その他

1) 第 97 回 NUSC で決定した、倫理活動の充実について（報告）

事務局より資料 No.71(9)シリーズについて説明があった。

事務局の説明

- ・ 3 月 30 日に開催された第 97 回 NUSC にて委員倫理の充実に向けた取り組みが決定された。
- ・ 具体的には NUSC 及び傘下の分科会及び検討会の委員は委嘱時に倫理テキストを閲覧いただいているが、今後は閲覧後確認書の提出をお願いする。
- ・ この取り組みは常時参加者についても対象となり、複数の委員会に所属（委員・常時参加者）されている方は 1 枚の確認書で良い。
- ・ 任期の無い委員（検討会委員）及び常時参加者については分科会委員（任期 2 年）と同様の取り扱いで分科会委員の更新時に確認書を提出いただく。

- ・現在の検討会委員及び常時参加者については、分科会委員の更新が最短で来年（2027 年）の 3 月にあるので、資料 No.71(6)2 及び 3 と確認書を添付したメールを事務局から送付するので、倫理テキストを読了後、確認書の記入提出をお願いします。

主な意見・コメント

- ・原子力規制庁だが、NUSC からの依頼は 4 月に受け取っている。これはすぐ確認書を送ることではなかったのか。
- 分科会委員の更新に合わせて実施することになっているので、現在委員及び常時参加者に既になられている方は、来年 3 月期に合わせてお願いしたい。事務局より、依頼させて頂く。
- ・倫理テキストに引用されている原子力学会の倫理規程は「原子力に関わるすべての者の行動規範」とされています。中部電力㈱のデータ不正の件について、原子力学会倫理委員会から声明と提言が出されていることをご認識願いたい。

2) 原子力規制庁からの情報提供

- ・IAEA の GSG（安全ガイド）改訂版が 5 月に正式発行され、安全文化の 10 トレイツが初めて正式な安全ガイドに収録された。
- ・GSR Part 2 の次回改訂作業が 8 月より正式開始予定（安全文化要求事項の充実、統合マネジメントシステムの実装化支援が主要テーマ）

主な意見・コメント

- ・IAEA の安全ガイドは GSG-3.5 ではなく -3.1 である。GSR Part 2 に対するガイドは JEAC4111 で先行して整備してきている。（後日、規格番号は GSG-20 であることが確認された。）
- ・ISO9001 の改定状況について教えていただきたい。
- 順調に進捗していて、予定通り 2026 年中旬に発行される。主な改定として ISO 規格共通の附属書 SL が変わったことへの適応、品質文化、倫理に関する要求事項が入ったということ、リスクと機会に条項を分けたこと以上 3 点が主である。倫理、文化の具体的に何をやるべきかということについてはコンセンサスを得ているわけでないが、やらなければならないことのコンセンサスは得ている。

3) 次回開催について

次回開催については、本日、小林リーダから説明のあった専門コース講習会が 12 月の開催を目指していることから、その 2 か月前（10 月 1 日）には実施承認が必要であるため、9 月上旬の山田先生の海外出張を避けて、8 月後半には開催する方向で調整する。

以 上

第 71 回品質保証分科会配布資料

- 71 (0) 第 71 回品質保証分科会 議事次第 r0
- 71 (1)1 品質保証分科会名簿 (2026 年度 6 月 19 日現在/ 第 98 回 NUSC 上程版)
- 71 (2)1 品質保証検討会名簿
- 71 (2)2 ワークショップ検討タスク名簿
- 71 (2)3 JEAC4111 適用課題検討タスク名簿
- 71 (2)4 JEAC4111 改定基本方針検討タスク名簿 (案)
- 71 (2)参考 1 品質保証検討会体制表(業種別)
- 71 (3)1 第 70 回品質保証分科会議事録 (案)
- 71 (4)1 第 70 回品質保証分科会以降の状況 (各会議体の議事録等)
- 71 (4)参考 1 第 89 回基本方針策定タスク議事録 (案)
- 71 (4)参考 2 第 82 回原子力関連学協会規格類協議会議事録
- 71 (4)参考 3 第 97 回 NUSC 議事録 (案)
- 71 (4)参考 4 第 75 回品質保証検討会 議事録
- 71 (4)参考 5 原子力関連学協会と原子力規格委員会 組織図
- 71 (5)1 2026 年度_実務コース講習会の開催案内(案)_
- 71 (5)2 JEAC4111 普及・促進チーム_2026 年度講習会作業スケジュール(案)
- 71 (6)1 JEAC4111 改定基本方針タスクの進め方 R1 途中経過報告
- 71 (7)1 No.70-1_技術資料 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係 新規制定_書
面投票結果 FIX
- 71 (7)2 書面投票後のコメント処理表
- 71 (7)3 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係_前書き
- 71 (7)4 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係_0-3 章
- 71 (7)5 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係_4-6 章
- 71 (7)6 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係_7 章
- 71 (7)7 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係_8 章
- 71 (7)参考 1 技術資料 (結合版) 公開処理版(案)
- 71 (9)1 委員倫理の充実に向けた取組の内容について (案) (97NUSC 承認資料)
- 71 (9)2 1.倫理テキスト本体 (活動の基本方針 260330 版)
- 71 (9)3 2.倫理テキスト付録 参考事例・参考情報集 (活動の基本方針 260330 版)